

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

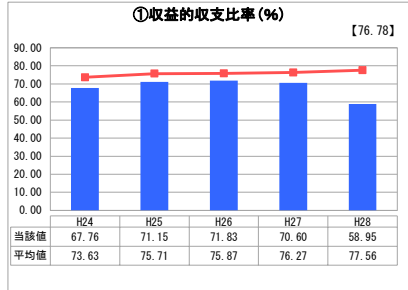
岐阜県 美濃市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	22.02	2,430	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
21,350	117.01	182.46
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,677	7.20	649.58

グラフ凡例	
■	当該団体の値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



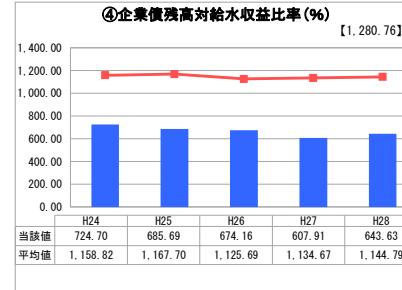
「単年度の収支」



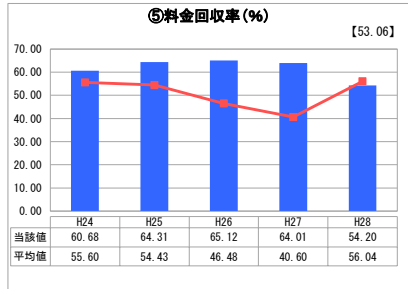
「累積欠損」



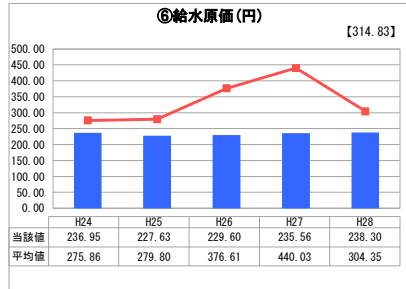
「支払能力」



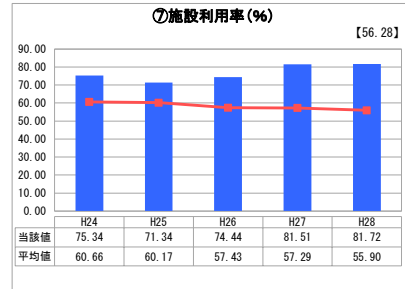
「債務残高」



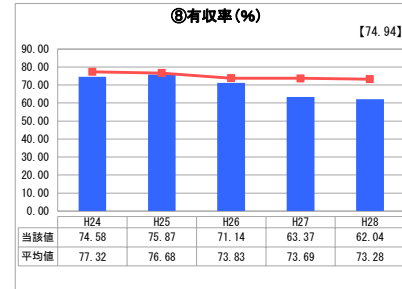
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

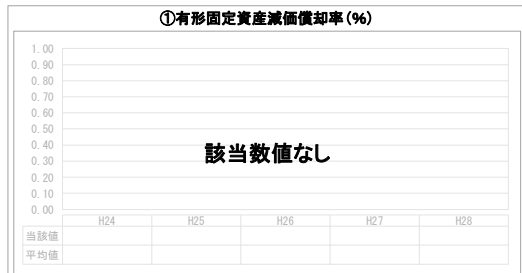


「施設の効率性」

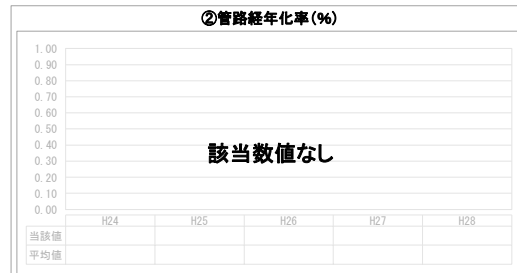


「供給した配水量の効率性」

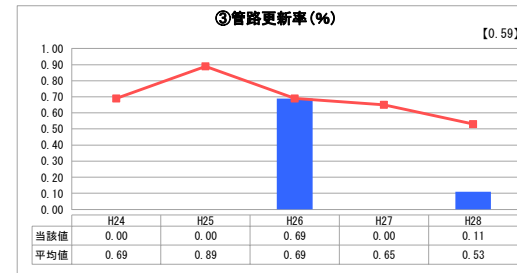
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
100%を下回っており、費用に対して収入が不足している状態です。平成28年度は、上水道事業への経営統合のための打ち切り決算により、給水収益が減少したため、前年度より低い数値となりました。

④企業債残高対給水収益比率  
類似団体より低い水準であり、収益に対する負担は少ないといえます。今後も企業債残高は減少する予定です。

⑤料金回収率  
100%を下回っており、費用を給水収益で回収できていない状況です。平成28年度は打ち切り決算により、前年度より低い数値となりました。

⑥給水原価  
豊富な原水を確認できることから給水にかかる費用は安定的に低く抑えられています。

⑦施設利用率  
施設は給水量に見合う適切な規模であり、ほぼ横ばいながらも利用率は高く推移しています。

⑧有収率  
類似団体と比べ下落率が高いです。漏水調査を強化するとともに、老朽管の計画的な更新を実施し、有収率の向上を図ります。

### 2. 老朽化の状況について

③管路更新率  
計画的な管路更新ができていないため、非常に低い状態です。

## 全体総括

市民に安全な水を安定して供給するため、健全経営に努めていますが、地域的な特性もあり、上水道事業と比べてもより厳しい経営環境といえます。平成29年度より上水道事業と経営を統合し、効率的な経営を目指しますが、人口減少などにより給水収益が減少する一方、老朽化した施設や管路の更新や水源施設の維持管理など必要な費用は増加するため、今後の簡易水道地域の経営環境はより厳しさを増すものと予想されます。

平成29年度からは上水道事業と一本化し、今まで以上に経費の削減を図るのはもちろんのこと、適正な料金水準の検討を行い、健全経営に努めます。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。